



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

平成 31 年 2 月 第 2 回 市長定例記者会見

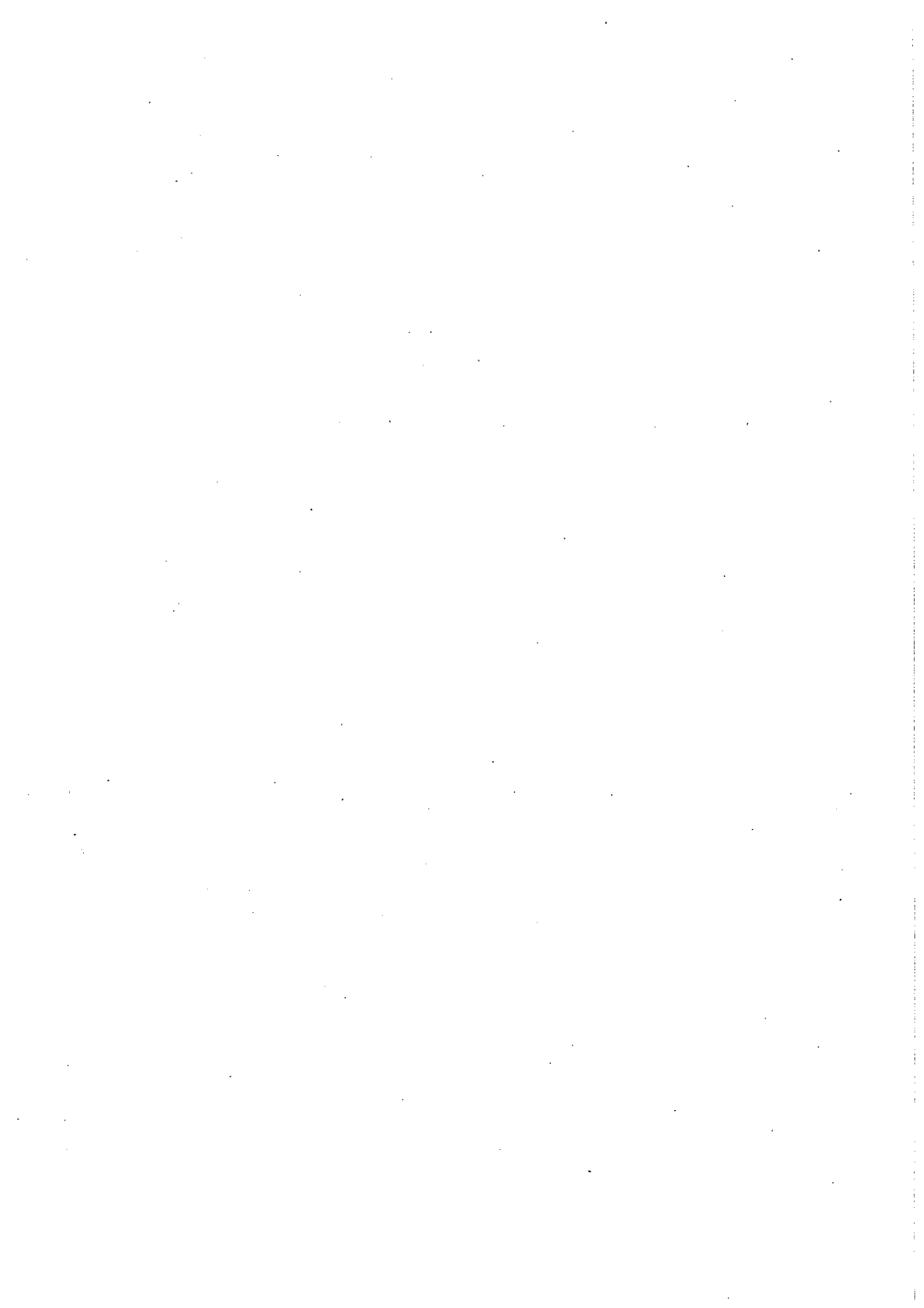
- ・日時 平成 31 年 2 月 12 日 (火)
午前 11 時
- ・場所 市役所本庁舎第 2 応接会議室

- 1 市内全小学校への I C T 機器の導入について (資料 1)
- 2 地域のまつり等応援事業について (資料 2)
- 3 「高齢者社会参加促進事業」の実施について (資料 3)
- 4 泉谷しげる氏及び「日本のまんなかしぶかわ「観光大使」心奏氏の市長表敬訪問について (資料 4)
- 5 道訓前(どうくんまえ)遺跡出土縄文土器の無料公開 (凱旋展示) について (資料 5)

○次回開催予定

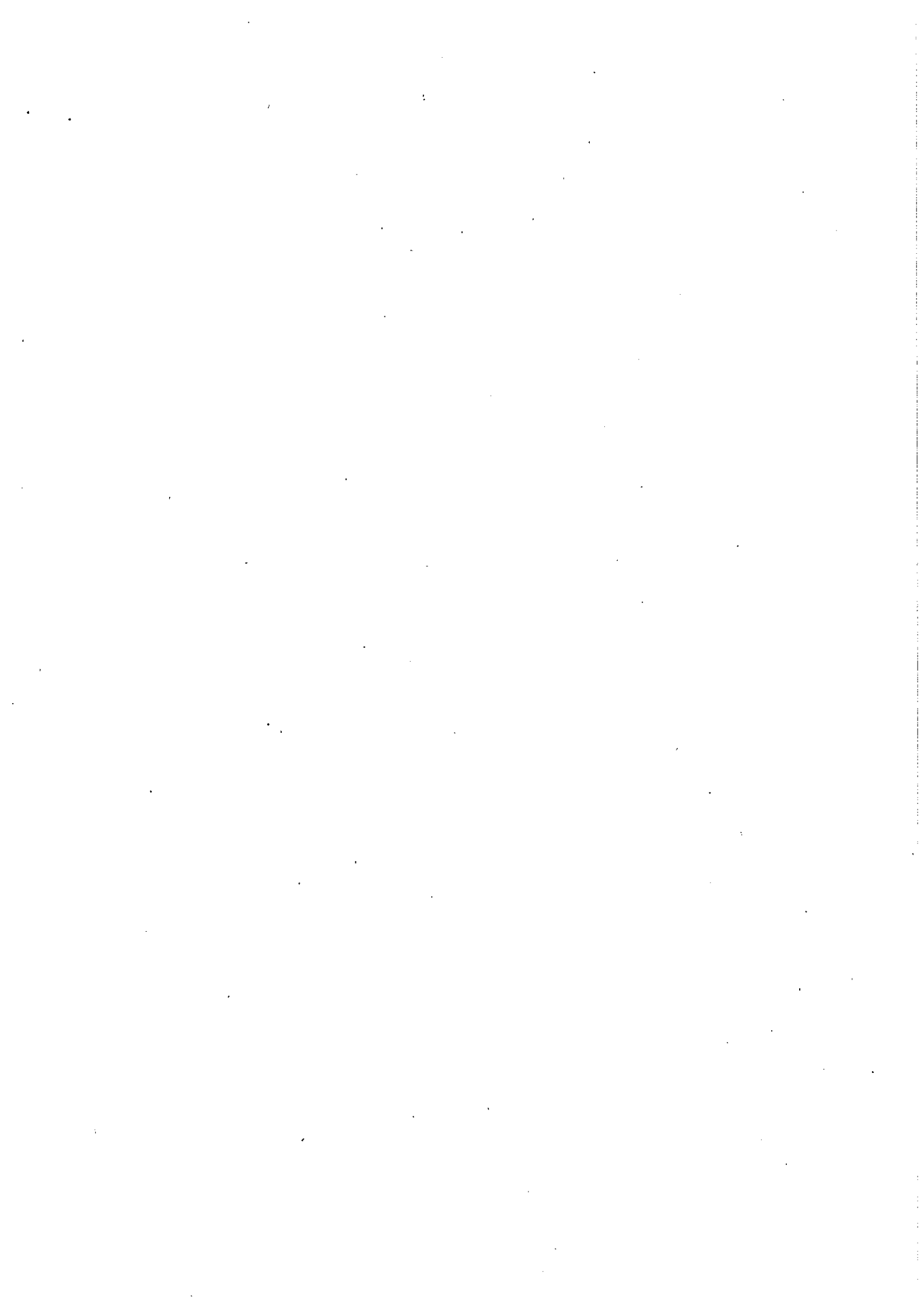
日時：平成 31 年 2 月 18 日 (月) 午後 1 時～

場所：本庁舎第 2 応接会議室



市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
2月12日(火)	8:30	庁議	第1応接会議室	秘書課
	11:00	定例記者会見	第2応接会議室	新政策課
	13:30	ググッと群馬観光宣伝推進協議会 臨時総会	群馬県公社総合ビル	観光課
	19:00	第2回渋川地域保健医療対策協議会	渋川保健福祉事務所	健康管理課
2月13日(水)	11:45	鉄道利用促進アクションプログラム手交式	JR高崎支社	交通政策課
2月14日(木)	9:00	トラック協会渋川支部との災害応援協定式	第2応接会議室	防災安全課
	10:00	第2回渋川市総合計画審議会	大会議室	新政策課
	12:00	ぐんま愛総括シンポジウム	ヤマダグリーンドーム前橋	新政策課
	14:00	渋川市国民健康保険運営協議会	大会議室	保険年金課
16:00	観光大使「心奏」氏、泉谷しげる氏 表敬訪問	市長応接室	新政策課	
2月15日(金)	10:00	2月広域組合議会定例会	勤労福祉センター	広域組合
2月16日(土)	8:30	小学生なわとび大会	子持社会体育館	スポーツ課
	終了後	第32回古巻公民館まつり 作品展	古巻公民館	古巻公民館
2月17日(日)	10:30	下中郷自治会「高齢者感謝の集い」	子持老人福祉センター	高齢福祉課
	13:00	群馬大学「観光日本語」シンポジウム	群馬大学荒牧キャンパス	観光課
2月18日(月)	9:00	庁議	第1応接会議室	秘書課
	13:00	定例記者会見	第2応接会議室	新政策課



資料1

担当：教育部学校教育課 課長 高橋 充 電話0279-22-2121 内線4910

件名：市内全小学校へのICT機器の導入について

1 事業概要

学習内容を視覚的によりよくわかり、楽しいと実感でき、興味・関心をもって学習しようとする意欲を育むために、市内全小学校に以下のICT機器を導入します。すべての学級で一斉にICTを活用した授業を行うことが可能になります。また、ICTを活用した授業をつくるための教職員研修を充実させます。

(1) 導入機器

- ① 大型提示装置：大型ディスプレイ、移動式の専用台
- ② 実物投影装置（書画カメラ）
- ③ 指導者用コンピュータ
- ④ 画像伝送対応無線LANアクセスポイント

(2) 設置箇所

- ① すべての普通教室（特別支援教室含む）
- ② 理科室、音楽室、体育館等の特別教室
（利用頻度が多く、学習効果が高いなど必要性のある特別教室）

(3) 教職員研修等

- ① 渋川市教育研究所での研修（ICT活用研究部の設置、ワークショップ）
- ② 渋川市教育委員会による取組（ICT機器活用推進委員会や各種研修会・会議等による事業の周知と効果的な活用の推進）
- ③ 各校での校内研修（授業研修・操作研修）

2 現状

各校における大型提示装置や実物投影装置などのICT機器の設置については、平成21年度に文部科学省の補助金を受け、各学校一斉に大型テレビを5台程度整備しました。以降、各校独自の校用備品による導入や、PTAバザーの収益等による寄贈等により、整備が進められてきました。その結果、各教室に大型ディスプレイがある学校もあれば、そうでない学校もあり、学校により整備状況にばらつきがあります。台数の少ない学校では、使用する際に予定が重なることがあり、使用に消極的な傾向も見られました。

3 整備計画

学習指導要領の全面実施に合わせて、小中学校に順次導入する予定です。

全小学校に上記の導入機器を設置するのは、県内12市の中で2番目です。

平成31年度 渋川市立全小学校（14校） 設置台数230台程度

平成32年度 渋川市立全中学校（9校）

4 デジタル教科書の全校整備

小学校では、平成31年度に新しい教科書が採択され、平成32年度から使用されます。それを受けて、市では、教師の指導用としてデジタル教科書を整備します。

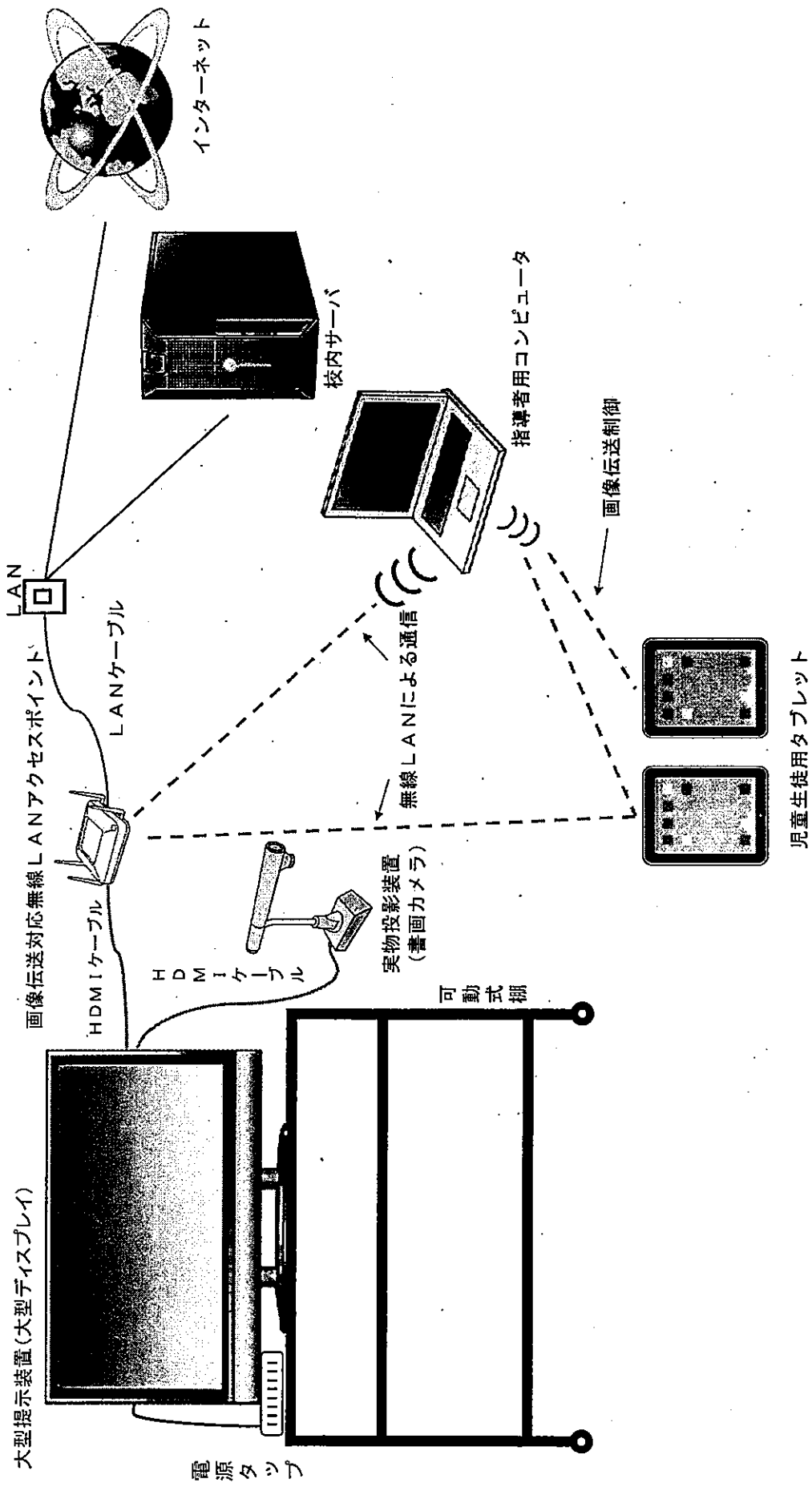
平成32年度には、ICT機器が整った教室環境の中で、デジタル教科書を使用した授業ができるよう進めています。

全小学校にデジタル教科書を一斉に整備するのは、県内12市の中で2番目です。

平成31年度 渋川市立全小学校（14校） 平成32年度から使用

平成32年度 渋川市立全中学校（9校） 平成33年度から使用

学ぶ楽しさを味わうICT活用推進事業 機器整備イメージ



資料2

担当：市民部市民協働推進課課長 田中 良 電話0279-22-2463 内線4314

件名：地域のまつり等応援事業について

1 概 要

次世代に残したい文化・芸能活動及び交流活動を将来の担い手である子供たちに継承していくため、市内で実施されている地域の小さなお祭りや行事に必要な備品等の購入費や記録保存費に対し、平成31年度から創設されるふるさと文化基金を活用して、補助金を交付し伝統文化の継承や地域の活性化を図ります。

2 補助対象経費

備品購入費、被服・装飾費、修繕費、記録編纂費など

3 補助率

事業実施に必要な経費の2/3以内の額（5万円を限度額とする。）

（申請は、1団体につき年度内1回とする。）

4 対象団体

渋川市内の自治会

追加資料

担当：教育部生涯学習課 山田 健司 電話0279-22-2500 内線4954

件名：渋川市ふるさと文化基金について

- 1 概要 市内在住の個人及び市内事業所から本市の文化遺産を活用した市域一体化の醸成等を目的に寄附金を受けたことにより、この寄附金を広く文化遺産の保存、伝承及び活用を図るための資金とするため、渋川市ふるさと文化基金を創設し活用する。
また、この基金創設に際し渋川市ふるさと創生基金から資金を充てる。
- 2 基金の額 30,000千円
* 内訳 個人からの寄附金 10,000千円
市内事業者からの寄附金 10,000千円
渋川市ふるさと創生基金から 10,000千円
- 3 充当事業 目的を達成するため、次の各事業等に充当する。
 - (1) 郷土にゆかりのある人物の顕彰、紹介：郷土の偉人展、紹介冊子の発行及び関連図書購入等
 - (2) 歴史、文化の保存、伝承：近代化遺産の紹介、地域のまつり等の補助等
 - (3) 小中学校における地域学習
 - (4) その他、市長がこの基金の目的を達成すると認める事業
- 4 事業予定 平成31年度の充当予定事業および予算の状況
 - ・ふるさと渋川再発見事業
(郷土の偉人展、軌道記憶石碑設置：生涯学習課)
 - ・ふるさと渋川再発見事業
(偉人紹介冊子の発行：文化財保護課)
 - ・ふるさと歴史館調査研究事業 (文化財保護課)
 - ・図書資料購入事業 (郷土の偉人関連図書：図書館)
 - ・地域のまつり等応援事業 (補助金：市民協働推進課)

資料3

担当：保健福祉部高齢福祉課 課長 酒井幸江 電話0279-22-2257 内線1230

件名：「高齢者社会参加促進事業」の実施について

1 目 的

本市では、住み慣れた地域で人生の最期まで尊厳をもって自分らしい生活を送ることができる社会の実現に向けて「地域包括ケアシステム」を構築し、その推進強化に努めています。そのような中、高齢者の地域交流を促進するとともに、社会参加による健康寿命の延伸を推進することが大変重要なため、効果的な事業を実施します。

2 事業の概要

・しぶかわシルバーカフェ事業

各地区で集会（カフェ）を開催し、自由なコミュニケーションやイベント等で交流する中で、高齢者個人の技術や趣味を活かす機会をつくっていきます。カフェの中で技術や趣味を披露するだけに留まらず、地域活動など社会参加に繋げていきたいと考えます。

カフェの運営は、公益社団法人渋川市シルバー人材センターに委託し、センター会員が同年代のコーディネーターとなり、高齢者が参加しやすい雰囲気づくりや会員の増強も目指します。

将来的には、カフェの参加者が運営に関わっていくことにより、住民主体の活動と
なっていくことを目指します。

・高齢者いきいき活動支援事業

高齢者が団体で行う清掃活動をはじめとするボランティア活動に対して、報償を支給します。将来的には、多世代での活動、自治会や任意ボランティア団体等にも支援を広げていきたいと考えます。

3 事業の実施等

平成31年度から新規事業として実施します。

・しぶかわシルバーカフェ事業

公益社団法人渋川市シルバー人材センターに委託して、各地区の公民館等で集会（カフェ）を2カ月に1回程度開催します。

・高齢者いきいき活動支援事業

渋川市老人クラブ連合会各支部（10支部）のボランティア活動に対して、年間3万円の報償を支給します。

資料4

担当：総合政策部新政策課長 儘田 清 電話0279-25-7014 内線2442

件名：泉谷しげる氏及び「日本のまんなかしぶかわ
観光大使」心奏氏の市長表敬訪問について

- 1 概要 絵と音楽と「地域」との融合イベント『アート オブ ライブ』を手掛け、全国で精力的に活動中の泉谷しげる氏が、同名のインターネット番組で共演中の本市観光大使の心奏（らら）氏とともに、本市域でのイベント開催について、渋川市長を訪問し、意見交換を行います。
- 2 日時 平成31年2月14日（木）
午後4時から（30分から1時間程度を予定）
- 3 場所 渋川市役所本庁舎2階市長応接室
- 4 内容 各地域とタッグを組み、その土地の名物や物産を取り上げつつ、「描く」・「観る」・「食べる」・「歌う」といった要素を存分に楽しむことのできるイベント『アート オブ ライブ』の開催に関する意見交換
- 5 その他 インターネット番組『アート オブ ライブ』の詳細については、YouTube上での視聴が可能です。

資料5

担当：教育部文化財保護課 課長 島田志野 電話0279-52-2102

件名：道訓前遺跡出土縄文土器の無料公開（凱旋展示）について

1 主旨・目的

当市北橋町上箱田地内での発掘調査において出土した国指定重要文化財「群馬県道訓前遺跡出土品」のうち深鉢形土器1点が、日本を代表する考古資料の一つとして昨年パリで開催された特別展「縄文」に出品され、海外でも大きな関心が寄せられました。このたびこの深鉢形土器が帰国したことに合わせ、多くの人にあらためてこの文化財を周知するため、無料公開（凱旋展示）するものです。

2 展示内容

- ・国指定重要文化財「群馬県道訓前遺跡出土品」のうち深鉢形土器1点
- ・パリで開催された特別展「縄文」のポスター及び図録

3 展示会場

渋川市北橋歴史資料館（所在地：渋川市北橋町真壁246番地1）

4 開催期間

平成31年2月23日（土）から3月3日（日）

*月曜日・火曜日休館

5 開館時間

午前9時から午後5時

6 入館料

凱旋展示期間中は無料

*通常は大人200円・学生100円

【参考】

○道訓前遺跡

縄文時代中期（紀元前約4,500～5,500年前）の集落遺跡。赤城山南西麓の台地上に位置し、標高は320m～330mほど。平成8年度～9年度にかけて行われた発掘調査（調査面積3,415㎡）で竪穴住居跡40軒、土坑264基が調査され、多数の遺物が出土した。

裏面へ

○道訓前遺跡出土品（国指定重要文化財）

上記の調査で出土した縄文時代の資料のうち、土器・土製品45点、石器・石製品117点ほかの計165点が平成19年6月8日に国の重要文化財に指定された。これらの特徴づけるのは、立体的な渦巻き文や耳状の突起があり、保存状態のよい縄文土器群であり、このうち土器9点が「焼^{やけまち}町土器」と呼ばれている。

○焼町土器

縄文時代中期、長野県東部から群馬県西部にかけての限られた地域に分布する、装飾性の高い土器群。

○当該土器の海外展示履歴

①年 度：平成18年度

企画展名：「日本」

会 場：モントリオール考古歴史博物館（カナダ）

②年 度：平成21年度

企画展名：「土偶」

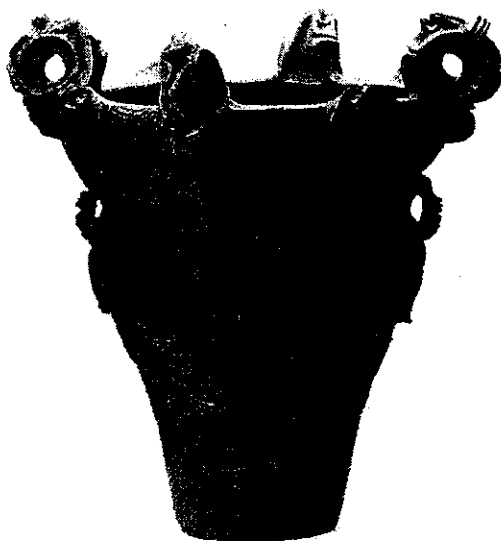
会 場：大英博物館（イギリス）

③年 度：平成30年度

企画展名：「縄文」

会 場：パリ日本文化会館（フランス）

展示土器



国指定重要文化財「群馬県道訓前遺跡出土品」のうち
の1点
深鉢形土器 器高62cm 口径46cm